



KADOMA PHOTO NEWS



輝くSmile!! ゆめ伴マーケット

5月25日、街かどケアホームれんかで、手作りの陶器や織物の販売、大根や玉葱の収穫が行われ多くの人で賑わいました。代表の森安美さんは「子どもからお年寄り、認知症の方も分け隔てなく純粋に楽しんでいました。これが日常の風景になるよう、これからも活動していきたい」と話されました。



街を駆ける！フォトログin もりかど

6月2日、門真市や守口市などを舞台にフォトログイニングが開催され、過去最多251人のランナーが街中を駆け巡りました。チェックポイントのコンプリートをめざす選手、気軽に歩いてグルメポイントで食事を楽しむ選手、楽しみ方はさまざま！ゴール後、参加者の皆さんは笑顔で達成感を噛みしめていました。



ひろげよう・人の和・地域の輪

6月2日、リサイクルプラザでボランティアフェスティバルが開催されました。ボランティアの方や市民活動団体が作成した作品の展示や販売、景品が当たるスタンプラリーなど楽しめる内容が盛りだくさん。ステージでは、吹奏楽団による演奏などが行われ、どのブースも多くの人が集まり賑わっていました。



みんなで「おたんじょうび おめでとう」

6月6日、市民プラザのなかよし広場でお誕生会が開催されました。フェルトで作られた大きなケーキを見て子どもたちは大はしゃぎ。誕生日のメダルをプレゼントされたお友だちは、嬉しそうにしながらも照れ笑いを浮かべていました。みんなで歌を歌ったり手袋人形劇を楽しんだり、とても素敵な思い出ができました。



パナソニックパンサーズがやってきた！

6月7日、協田小学校で門真ロータリークラブとわくわくキッズ実行委員会がバレーボール教室を開催しました。当日は5・6年生約150人が参加。間近でみる日本のトッププレイヤーの迫力に驚きながらも、優しい指導のおかげで多くの児童がバレーボールに親しむことができました。



楽しくて笑っちゃう！脳の活性化ゲーム

6月7日、保健福祉センターでリフレッシュサロン青い鳥により初開催されました。今回は約10種類の頭と体を使ったゲームが行われ、参加者からは「お腹の底から笑ったのは久しぶりやわぁ」と感動の声。スタッフの大林さんは「参加者の声を聞き、もっと多くの人に参加してくれるよう活動していきます」と話されました。



いきいき わくわく 元気もりもり

6月9日、市民プラザ体育館でいきいき百歳体操・わくわく音楽隊フェスが門真市シルバー人材センター主催のもと開催されました。昔懐かしい昭和歌謡がエレクトーンで演奏されると、参加者は「この曲めっちゃ好きやったわ」「私まだ生まれてへんわ」と冗談を交えながら、歌ったり手拍子をしたりして楽しみました。百歳体操ではおもりを持って元気に体を動かされ、皆さんの健康意識の高さが伺えました。



お母さんが楽しいと子どもも楽しい！

6月14日、保健福祉センターで主任児童委員（民生委員・児童委員）による「親子で楽しむ人形劇場」が開催されました。人形劇団もんぺ座による音楽劇で、子どもたちは犬や猿、きつねなどの登場に大喜び。お気に入りの人形を触ったり動かしたりもでき、38組の親子の笑い声と笑顔が溢れるひとときとなりました。



門真に響く 吹奏楽の音色

6月16日、市民プラザ体育館で第22回門真市吹奏楽フェスティバルが開催されました。会場は聴衆でほぼ満員。全8組の吹奏楽団による熱のこもった見事な演奏が行われました。演奏を控えたグループは整然と並び、他グループの演奏終了後に一際大きな声援と拍手を送るなど、会場中が一体となり盛り上がっていました。

（市民特派員・石川良治）